

産業情報 いわて

Industry Information Iwate

Vol. 218 / 2022
8-9

★キラリ輝く★
★岩手の企業★

北上市 株式会社エヅリコ・エンジニアリング

人材と設備の融合が可能にした オンリーワンの板金加工技術



各部事業紹介…6・7

設備貸与制度のご案内…8

ILC current topics…8



キラリ輝く
岩手の企業

人材と設備の融合が可能にした オンリーワンの板金加工技術

あらゆる製造業において必要とされる板金加工。北上市にある株式会社エヅリコ・エンジニアリングは、工作機械カバーや変電所むけ制御盤などを、設計から組立までの一貫生産体制で手がけている。その高い技術力は、今までにない産業分野からも注目を集めるようになった。

北上市  株式会社
エヅリコ・エンジニアリング

北上の地で創業し約40年
技術で全国に名を馳せる

「板金加工に取り組む上で大事なものは、どうやってモノを作っていくか。受注先からの外形図や製品仕様要件に基づいて製造工程の最適化に取り組み、部品の配置はもちろん材質を含めたトータル

な提案をしていくのが、当社のものでづくりです」

そう力強く話すのは、株式会社エヅリコ・エンジニアリング取締役工場長の菊池公太郎氏。同社は昭和60年の創業以来、板金加工技術の研鑽と革新に努めてきた。高度に蓄積された製造知識を駆使し、設計や加工のみならずクラ

イアントへのVA/VE提案(客先設計に対する改良提案)も行い、さらには塗装や組立までも自社工場で完結。工程間の輸送コストや客先での外注管理コスト、組立コストなどを抑えることができ、結果として全体の製造リードタイムも短縮された。取引先は長年取引組んできた各種工作機械カ

1ファイバーレーザー・パンチ複合機。現機種は金属板の収納棚が54もあり、コンピュータ管理で必要な金属板が自動で搬送される仕組み。23ベンダー(曲げ)加工は自動金型交換装置と自動角度計測機が搭載された最新鋭のプレスブレーキ。4変電設備の配電盤のカバーをはじめ、設置要件に合わせた様々な工作機械の板金加工に特化。企業の研究開発部門などからの試作品や開発品の発注も多いため、溶接にも高い技術が求められる。53Dによる板金設計はもちろん品質やコスト面を考慮した展開設計も行う。



バーや電力企業向け制御盤に加え、食品関係など新たな産業分野からのオファーも相次いでいる。

取引先の課題を解決する
提案力と一貫生産体制

同社がメインに手がけるのは用途や仕様も様々な工作機械のカバー。抜きや曲げなど複雑な形状を有し、そのほとんどは小ロットでもある。また企業の研究・開発部門から試作品などの製造依頼も多いという。だからこそ「どう

やってモノを作っていくか」は重要なのだ。

例えば、板金設計。平成19年には3次元CAD・CAMシステムを導入しソリッドワークス3Dの板金設計から展開設計までを実施し、短納期や低コストへの対応が可能になった。この3Dデータを共有し、切断、曲げ、溶接、洗浄、塗装そして組立までを一貫生産。24時間連続運転が可能なファイバーレーザー・パンチ複合機をはじめNCプレスブレーキなど最新鋭

の機械を備える一方で、熟練工による板金加工も得意としている。「人と機械を融合させていくのが大事」と菊池工場長が言うように、同社の強みは「設備」と「人材」というトータルな技術力を有していることなのである。

新たな市場開拓に向けて
設備と技術革新は続く

そんな同社は、いわて産業振興センターが実施する、「中堅管理
この事業を活用しました

者講座」に参加し人材を育成。また、販路開拓のため「いわて商談会」にも毎年参加。参加をきっかけに食品用包装機械メーカーとの取引が実現し、ステンレス加工に対応する最新のファイバーレーザー溶接システムなど技術革新にも取り組んでいる。まだまだシェアは小さいと菊池工場長は言うが、他にも防災機器メーカーや医療関係、半導体製造装置など、販路は確実に広がっていると話す。

さらに今年度中には、「製品外型自動認識 粉体塗装システム」を導入する計画も。製品の形状を3Dスキャンし、8つの側面塗装用自動ガンによる粉体塗装を自動で行う製造ラインの導入は、実現すれば日本では同社が初となる。

総合的技術力を武器に、これからも同社の挑戦は続いていく。



6 7 塗装には「粉体塗装」と「溶剤塗装」の2つがある。粉体塗装は静電気による塗装を施した板金を180℃の高温で乾燥させる。今年度中には3Dスキャンにより製品の形状に合わせて自在に粉体塗装ができるラインを導入予定。8 専門分野の知識を持った社員が製品仕様に基づき、メカ・電装品の組立作業を行う。9 塗装検査では計測器により膜厚や光沢を検査するほか、目視で製品の肌やゴミ、塗装のタレなどがないかも確認。



ファイバーレーザー・パンチ複合機は、金属板の収納棚が54もあり、コンピュータ管理で必要な金属板が自動で搬送されたのち3Dによる板金設計のデータに基づき、素早く正確に抜き加工が行われていく。食品用の包装機械は衛生管理の面からステンレスで製造されるため、ファイバーレーザー溶接システムを導入。溶接にレーザーを使用するため高温にならず、また溶接スピードも安定しているため溶接面が均一にでき、品質が求められる食品分野では大きなアドバンテージになる。

10 電力企業向け制御盤など複雑な工作機械を製造する同社。以前は製品によって違う厚さの金属板を人力で格納していた。パンチ複合機の導入で作業効率は格段に向上。11 いわて商談会をきっかけに導入を決意、1年近くも準備期間を経て稼働したファイバーレーザー溶接システム。



この事業を活用しました

新規取引先開拓支援！「いわて商談会」の開催



「ものづくり企業」の新規取引先開拓のきっかけを作っていたため、「いわて商談会」を開催しております。本商談会は関東地区を中心としたメーカー等発注企業と、本県を主とした受注企業の方々が一堂に会して、面談形式による商談を実施することで新規取引先の拡大を支援するものです。今年度は、東京商工会議所との連携により都内企業との交流を一層促進するものとし、11月17日(木)にホテルシティプラザ北上で開催予定となっておりますので、皆様のご参加をお待ちしております。

申込URL <https://www.joho-iwate.or.jp/news/7168>

お問い合わせ ものづくり振興部 取引支援・産業集積担当 TEL:019-631-3822

管理者の養成！中堅管理者(後継者養成基礎)講座

企業が繁栄・存続していくためには、将来にトップを支えることとなる中堅管理者と後継者の養成が不可欠となります。この講座では、管理者・後継者に要求されるテーマを、「経営理念・戦略」「経営計数の理解」「リーダーシップと部下育成」の3つに絞り、実習と体験学習を主体に体系的に学んでいただく内容です。今年度はお申込み企業が多く、2回(通年1回)開催いたしました。今後も1回/年の計画で開催いたします。

お問い合わせ 産業支援部 産業人材育成担当 TEL:019-631-3824



代表メッセージ

取締役工場長 菊池 公太郎氏

もともと工作機械は複雑な形状のものが多く、当社ではその難題に取り組むことで素材ノウハウや製品コストに求められる高度な製造知識を保有してきました。その上で設計から電装品など設計・組立までを自社内で一貫して行い、競合する板金加工事業者には真似のできない制御盤の一体納入体制も実現できたのです。今後は異業種分野にもどんどん進出し、新たな市場でも板金のみならず組立まで手がける事業を展開していきたいと考えています。

代表 Profile

1981年、岩手県生まれ。三重県鈴鹿市にて自動車部品メーカーに12年間勤務、新機種のライン設計(生産技術)に取り組んだのち岩手に帰郷、父が代表取締役の株式会社エツリコ・エンジニアリングへ入社。副工場長をへて2019年より工場長に就任。前職で培った生産技術の知識をベースに収益管理などに取り組んでいる。

企業データ

会社名 株式会社エツリコ・エンジニアリング
本社 岩手県北上市滑田20地割111-1
電話 0197-77-2666
代表者 代表取締役 菊池 公二郎
創業 昭和60年4月
従業員 54人
業種 工作機械・電力機器等、板金・塗装及び組立品の製造
URL <https://www.e-eg.co.jp/>

沿革

昭和 60年 旧和賀郡江釣子村で(株)エツリコ・エンジニアリング創業
平成 元年 第3工場新設、板金事業の開始
平成 3年 工作機械メーカーより分離、独立電力会社向け事業の開始
平成 6年 塗装事業の開始
平成 8年 第4工場新設、組立事業の拡大
平成 19年 三次元CAD導入、設計事業の拡大
平成 30年 第6工場新設
令和 5年 3Dスキャン自動粉体塗装ライン稼働予定